

OECU杯

ヒト型レスキューロボットコンテスト®2017

概要

- 日時: 2017年11月5日(日)12:00~17:00
- 場所: 大阪電気通信大学 駅前キャンパス1階
- 主催: ヒト型レスキューロボットコンテスト実行委員会
- 共催: 一般社団法人日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス部門、大阪電気通信大学テクノフェア実行委員会、一般社団法人アール・アンド・アールコミュニティー
- 協力: 大阪電気通信大学 自由工房
- 協賛: 株式会社アーテック、株式会社アールティ・アールティフオワード、ヴイストン ロボットショップ、株式会社MGIC(エムジック)、共立電子産業株式会社、クアッドセプト株式会社、近藤科学株式会社、株式会社佐竹技研、サンリツオートメーション株式会社、有限会社杉浦機械設計事務所、株式会社ダイセン電子工業、株式会社プロアシスト、株式会社ロボティズ日本支店
- Mail: humanoid-rescon@googlegroups.com
- Web: <http://goo.gl/AjTWD2>



スケジュール

- 12:00~15:00 ファーストミッション (17 競技)
- 15:00~15:30 休憩・調整
- 15:30~16:30 ファイナルミッション (6 競技)
- ミニ講演(神戸大学 横小路 泰義 先生)
- 16:30~17:00 表彰

ヒト型レスキューロボットコンテストとは

ヒト型レスキューロボットコンテストは、ヒト型ロボットによる災害救助をテーマにしたロボットコンテストです。ヒト型ロボットを遠隔操縦して、約 4m×2m のフィールド内で「トンネルくぐり」「段差乗り越え」「ガレキ除去」「要救助者搬送」の四つのタスクを順に実行し、成功したタスクの数や、かかった時間の短さを競います。また、各タスクに対する審査員による評価も重視されます。

本コンテストの基になっている「レスキューロボットコンテスト」は、2000 年から毎年開催されており、ロボット競技を通じて、ものづくりの楽しさを伝えるとともに、防災や減災の大切さや難しさを考える機会を提供しています。本コンテストも、この考えを継承し、さらに多くの皆さんに輪を広げるために開催します。

レスキューホイッスル(受付で販売、1個200円)

本家レスコン実行委員会が、チャリティーグッズとして製作。売り上げは全て日本赤十字に東日本大震災の義援金として寄付します。



競技者・ロボット (ファーストミッション競技順)

	氏名	所属団体名(学校名など)	ロボット名
1	エッセー	大阪工業技術専門学校	ロック
2	末澤 佑一朗	社会人	パンプキン
3	森下 英治	大阪電気通信大学 自由工房 HRP	ルクレール
4	ヤブ	産業技術短期大学	Rescue ORENGE
5	NOIR	チーム SSK	レッドゴリラ
6	ショーグン	九州工業大学	爽太
7	近藤隆路	個人	RB2000SF
8	キノコ	大阪産業大学 ロボットプロジェクト	ペティットなの
9	佐川 祐樹	大阪工業技術専門学校	クラージュ
10	吉田 拓斗	大阪電気通信大学 自由工房 HRP	b
11	助光 翔真	大阪電気通信大	シュヴァルツアー
12	中村	大阪電気通信大学高等学校	DMS-優
13	佐々機	チーム SSK	ブラックゴリラ
14	廣瀬 大起	産業技術短期大学	Rescue WHITE
15	5039	大阪産業大学 ロボットプロジェクト	プロトロン
16	扇谷 勇登	大阪工業大学ロボットプロジェクト	ロボ太郎
17	NAKAYAN	関西四天王	レグホーン

競技時間とポイント

競技時間:6 分間

ただし、ファイナルミッションで搭載カメラ遠隔操縦の場合に限り 9 分間

総合ポイント(1000 点満点)

=タスクポイント(400 点満点)

+残り時間ポイント(300 点満点)

+審査員ポイント(300 点満点)

タスクポイント=成功したタスクの数×100

残り時間ポイント(通常)=360-所要時間(秒)

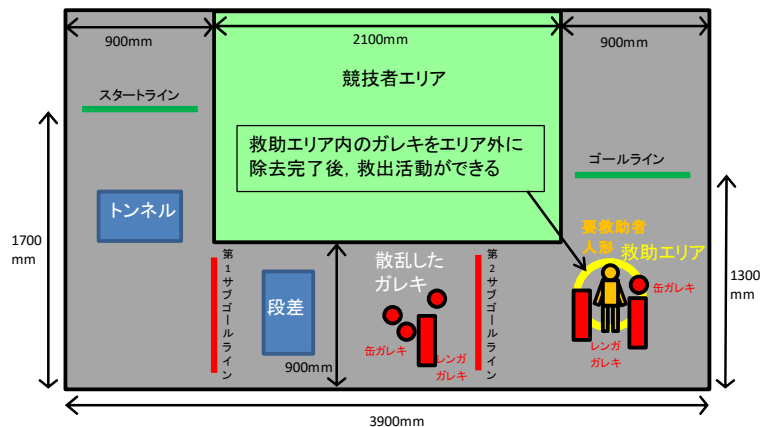
残り時間ポイント(ファイナルで搭載カメラ遠隔操縦)

=540-所要時間(秒)

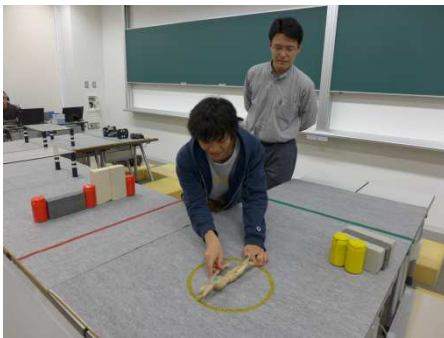
審査員ポイント

=3 人の審査員のポイント(100 点満点)の合計

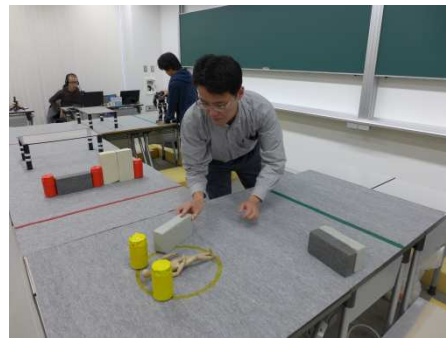
競技フィールド



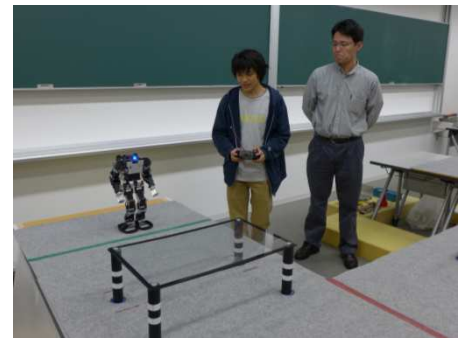
競技の流れ



(1) 競技者が要救助者人形を配置



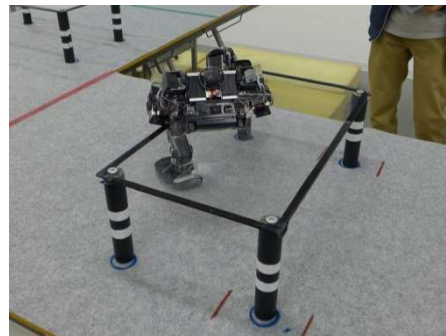
(2) 審判がガレキを配置



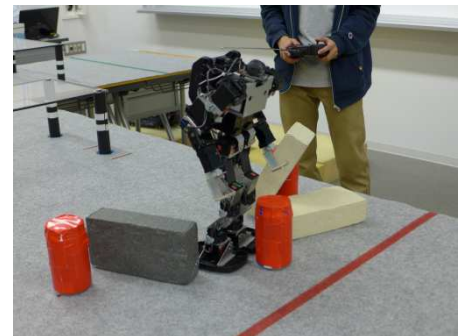
(3) スタートエリアから出動



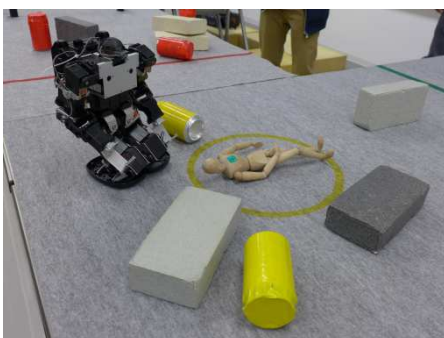
(4) トンネルくぐり(制限時間 1:30)



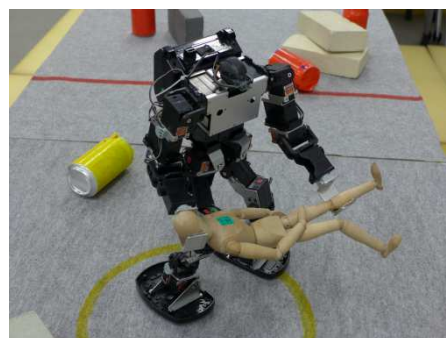
(5) 段差乗り越え(制限時間 3:00)



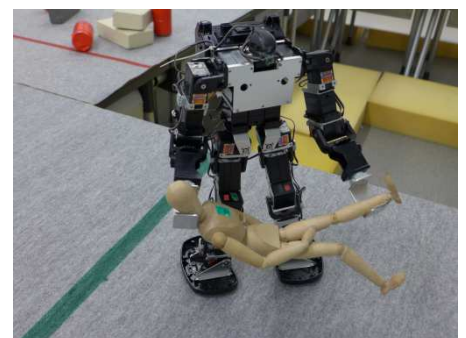
(6) 路上ガレキを押しわけ



(7) 救助エリアのガレキを除去
(制限時間 4:30)



(8) 要救助者人形を搬送



(9) 人形の全身がゴールラインを越え
るとレスキュー活動完了